

## 浜名港プレジャーボート係留施設指定管理者評価委員会会議録

1 開催日時 令和6年2月16日（金）10:30～12:00

2 開催場所 静岡県庁別館2階 第一会議室A

3 出席者

<評価委員会委員>

氏名	所属・役職
いづか たかし 飯塚 隆	静岡県中小企業団体中央会 西部事務所長
うえもり たつろう 上森 達朗	一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会 救助事業部長
おおいし まさひろ 大石 真裕	一般財団法人静岡経済研究所 主席研究員
たかせ すずむ 高瀬 進	静岡県漁業協同組合連合会 常任理事

※敬称略、五十音順

<事務局（港湾企画課）>

市野課長、松原課長代理、杉山主事

<関係者（浜松土木事務所維持管理課）>

安田課長、岩瀬課長代理

4 会長選任

評価委員会委員の互選により、高瀬進委員が会長として選任され、会長は副会長に大石真裕委員を指名した。

## 5 会議の内容

- ・指定管理者及び委員の主な発言要旨を記載している。
- ・発言者は特定しておらず、会長は会長職としての発言のみ特定している。
- ・発言者は次のとおり記載する。

会長：会、委員：委、指定管理者：指、事務局：事

### <指定管理者ヒアリング>

指 業務報告（20 分間）

○以下質疑応答

委 PBS の施設使用許可未申請者への対応とは具体的に何をしているか。

指 施設の使用には静岡県港湾管理条例に基づき許可が必要であり、毎年許可を更新している。その許可申請が未提出で使用の意向がある利用者には追加で案内を出す等で申請してもらい許可をしている。

委 どのような苦情があるか。

指 苦情で一番多いのは利用料が高いということ、要望としては水道設備や駐車上の設置が多い。

委 アンケートでも利用料が高いという声が多い一方、現在は県の条例料金の上限よりは低い金額となっており、近年の諸物価高騰も考えれば利用料を上げるタイミングという考えもあると思うがどうか。

指 PBS は放置艇対策として低廉な価格で船の受入を始めたので、値上げについては慎重に考えている。収支の見込み等を立てながら検討するが、直ちに値上げしようという考えは現在はない。

委 令和5年の8月から12月の来場回数が前年度を下回っているが要因は考えられるか。

指 浜名湖で魚やアサリが取れなくなった、浅くて通れない場所がある等の話を聞くのでそれらが関係しているかもしれない。

委 利用者は車で来る人が多いか。また目的は釣りが多いのか。

指 車が多い。目的についてもPBSは釣りが主体の利用者が多い。

委 先ほども来場回数の話が出たが、利用目的が釣りであればどこかで浜名湖の釣りの情報等が分かるようにできればいいと思う。

委 太平洋沿いの主要なマリーナでは設備の老朽化に対する改修に伴い利用料を上げているが、利用者からは設備が良くなれば嬉しいと苦情は出ていない。公共マリーナでは考え方が違うかもしれないが、料金を上げて設備を向上させるというのも良いと思う。

- 指 まず民間マリーナとは対象の船の規模が違うということがある。収支が合わなくなれば運営ができなくなるので値上げをするしかないが放置艇が出ないようにという公共的な役割を持つ施設であるので慎重に考えていきたい。
- 委 施設所有者の静岡県のを借りて、利用者へのより良い環境のための設備向上を図り利用者を増やす方向はどうか。
- 事 やはり PBS は放置艇対策により浜名湖の全体の秩序を高めることを目的としており、現在は繁盛させたいというスタンスではない。一方で浅瀬への対応等、安全対策はしなければならないし、持続可能な運営ができる状況は確保する必要がある。
- 委 船舶保険未加入者への対応は厳しくやってほしい。未加入者とのトラブルで他の利用者へ影響が出る。
- 指 漁船保険組合等の関係団体と協力し、低額で加入できる浜名湖保険という特別な保険を作り、未加入者でも入りやすいような工夫をしている。

#### <委員講評>

- 委 当初の放置艇対策のための公共施設という目的は果たされている。船に乗るには釣りやレジャー等の目的があり、利用率の維持にはその目的を刺激できる情報の提供による新たな利用層の発掘が必要。
- 委 適切に管理されている。今後の施設の方針で、県民の健康増進やマリレジャーの振興等が重視されないのであれば、人口減少の進展等で施設の管理運営を受益者負担で行えなくなる場合には、PBS も民間マリーナに誘導する等、店じまいに向けた検討も必要ではないか。
- 委 適切に管理や対策がされている。以前視察した際も、委託職員の高齢化によるノウハウや知識の承継も課題という話を聞き、管理面でも将来的なビジョンを明確にする必要がある。
- 委 指定管理は問題なく行われている。他県では今年に入って違法係留への徹底的な取り締まりにより、老朽化している船舶の廃船に向けた動きがある。関東でも違法係留への救済は終わり、レジャー利用施設の整備をして適切に料金をとっている。静岡県も同様の方向に進んでも良いと思う。

#### <採点・集計>

- 会 配点合計 84 点、総合評価は「良：評価できる」となった。